

第32回 日本リウマチ学会関東支部学術集会

The 32nd Scientific Meeting of Japan College of Rheumatology Kanto Branch

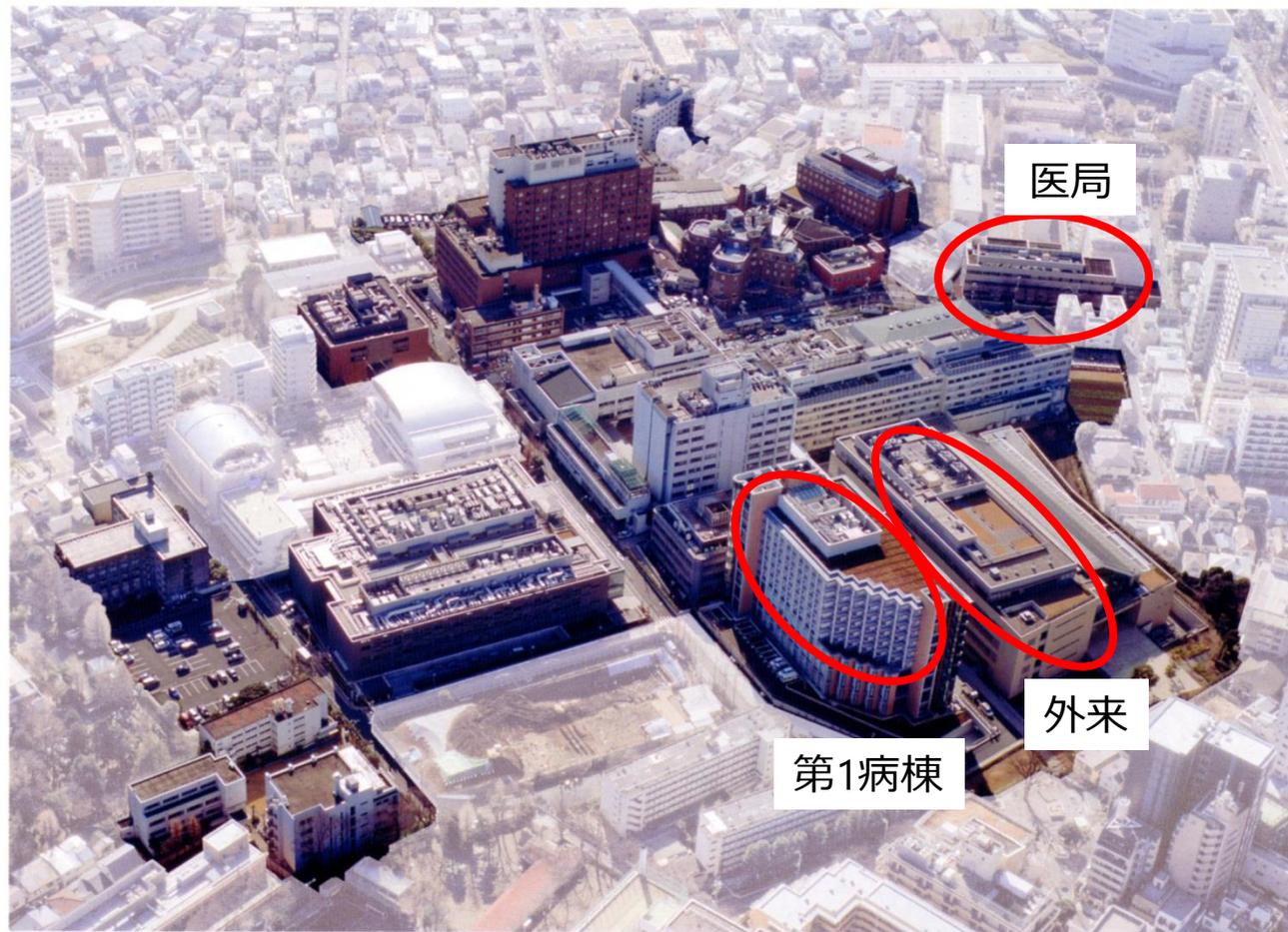
次世代につなぐリウマチ学

東京女子医科大学医学部 内科学講座
膠原病リウマチ内科学分野

講師・医局長 勝又 康弘

利益相反の有無 : 無

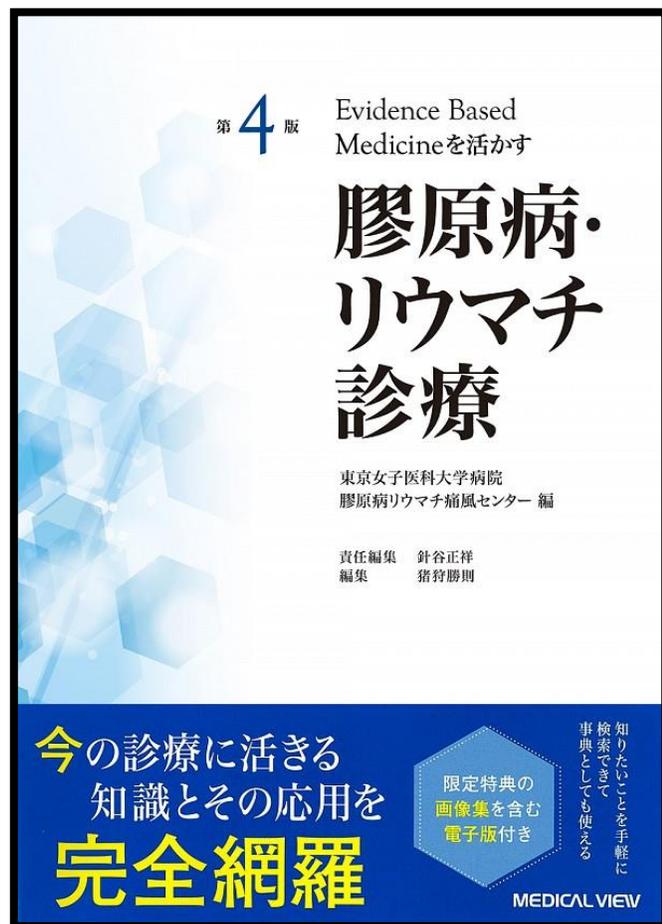
※この演題に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などはありません。



河田町キャンパス全景



東京女子医科大学での膠原病・リウマチ内科研修



関節所見がとれるようになります

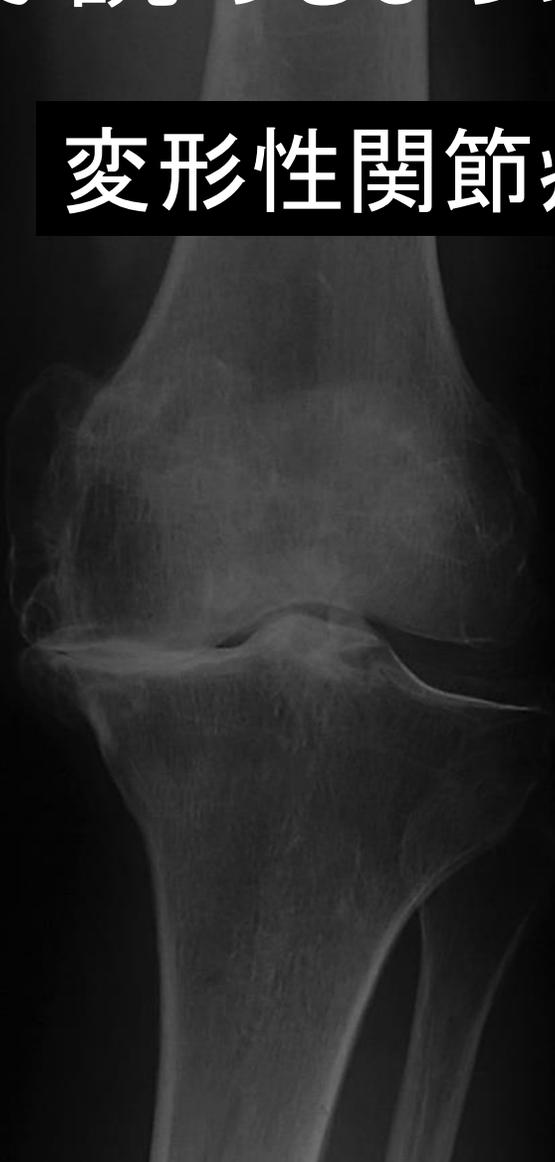


関節X線が読めるようになります

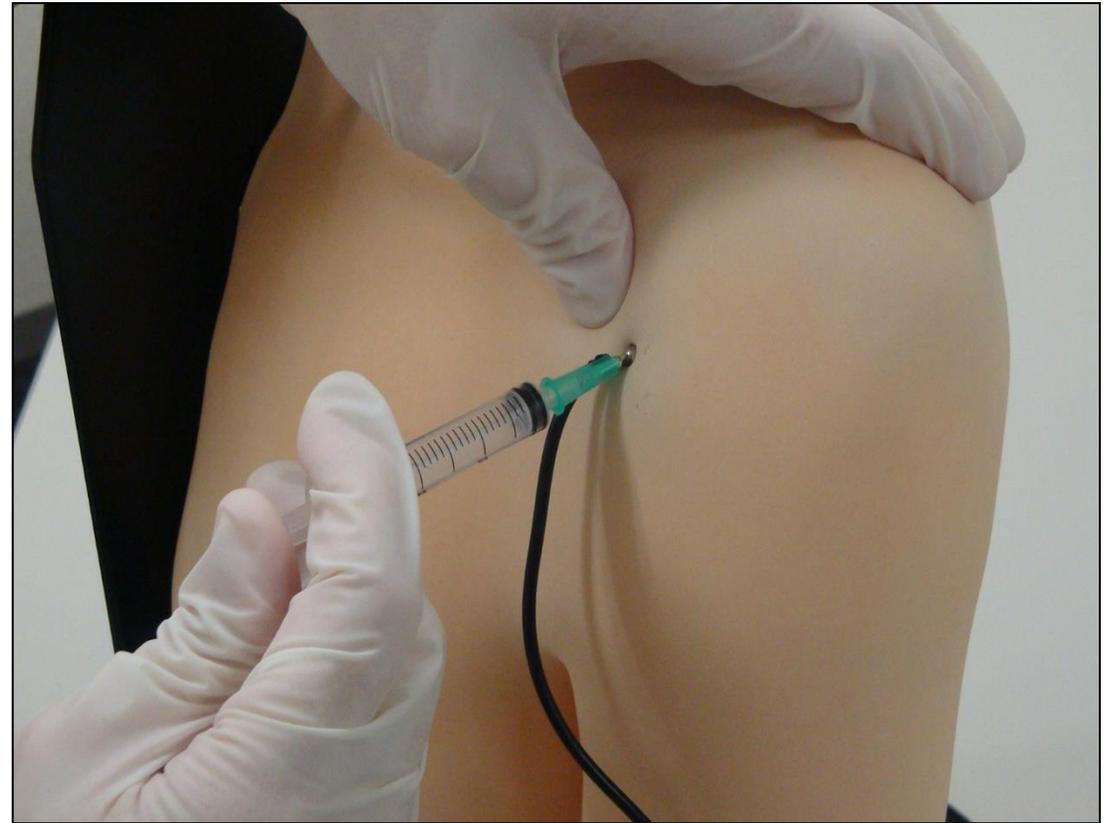
関節リウマチ

変形性関節症

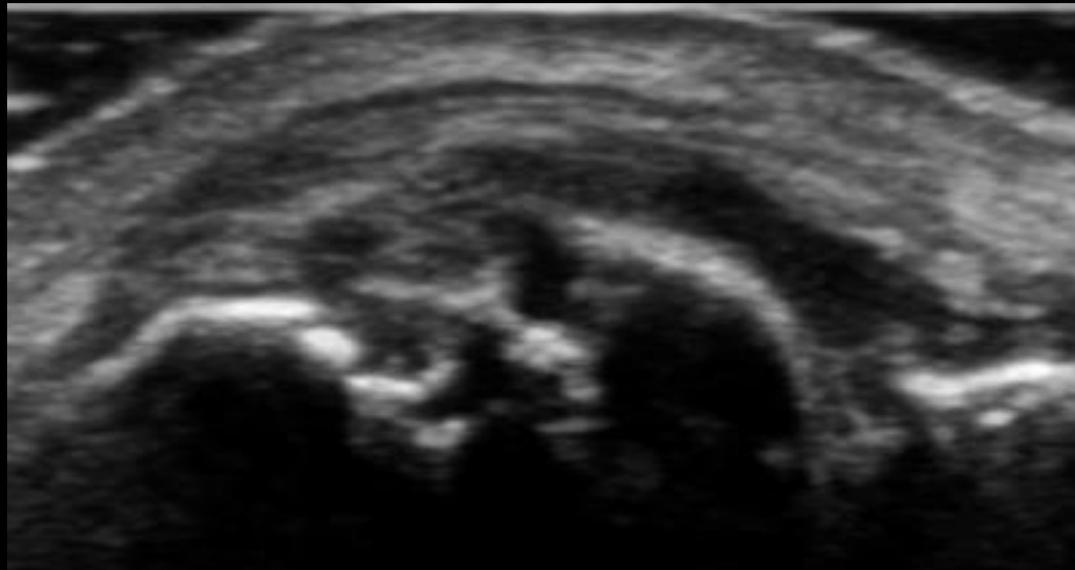
偽痛風



関節穿刺ができるようになります



関節エコーができるようになります



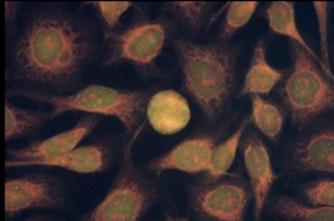
滑膜肥厚+骨びらん



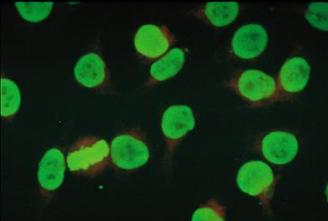
血流シグナル増加

自己抗体検査を正しく解釈できるようになります

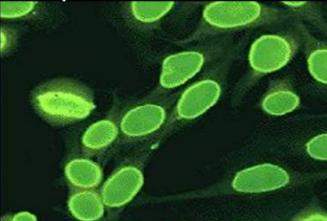
陰性



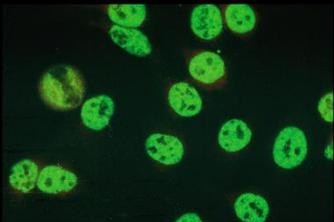
Homogeneous型



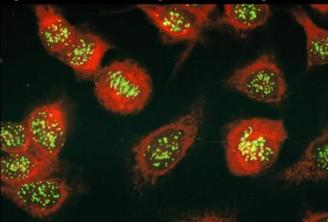
Peripheral型



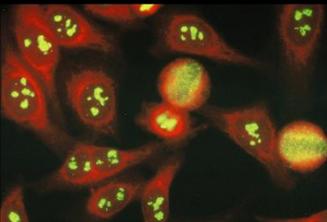
Speckled型



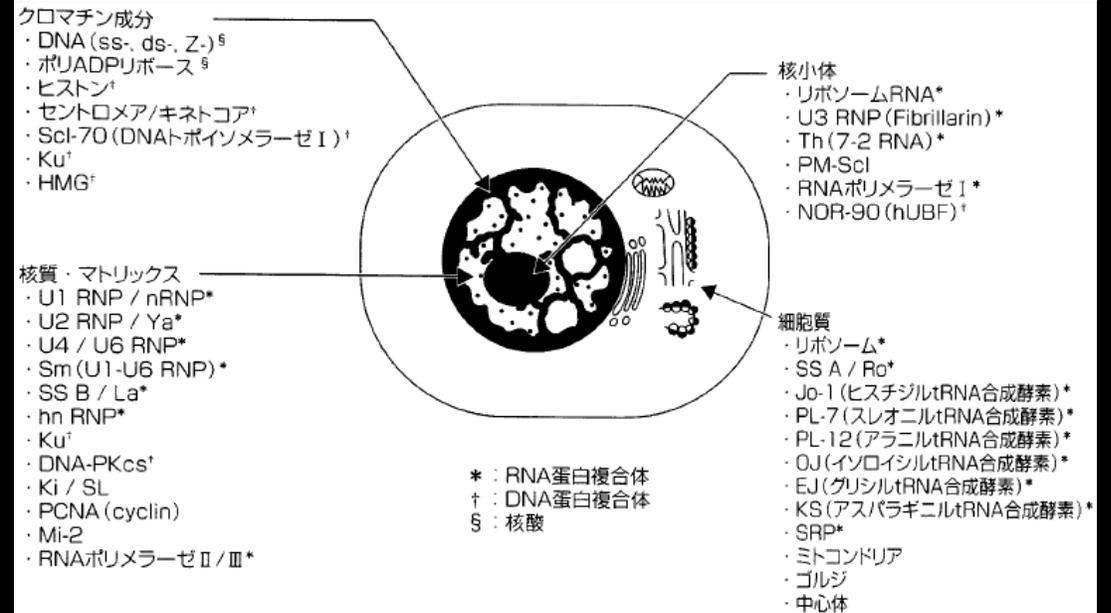
Centromere (Discrete-speckled)型



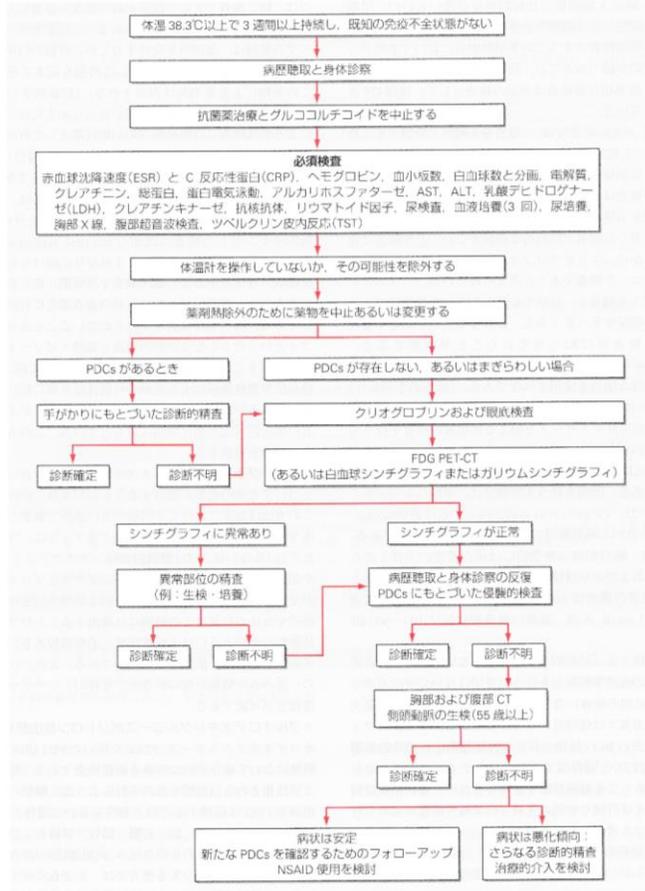
Nucleolar型



<http://ivd.mbl.co.jp/ana/pattern.html>



不明熱患者の体系的アプローチを学べます



不明熱の原因

➤感染症: 47%

➤**膠原病: 18%**

➤悪性腫瘍: 6%

(大嶋弘子、内藤俊夫: 総合診療科における不明熱患者215症例の解析. 順天堂医学. 2005;51:167)

➤その他: アレルギー、薬剤熱、詐熱

日和見感染症の予防・診断・治療を学べます

POINT

日和見感染とは？

免疫力の低下した者が、健常者は感染症を起こさないような病原体によって感染症を引き起こすこと。

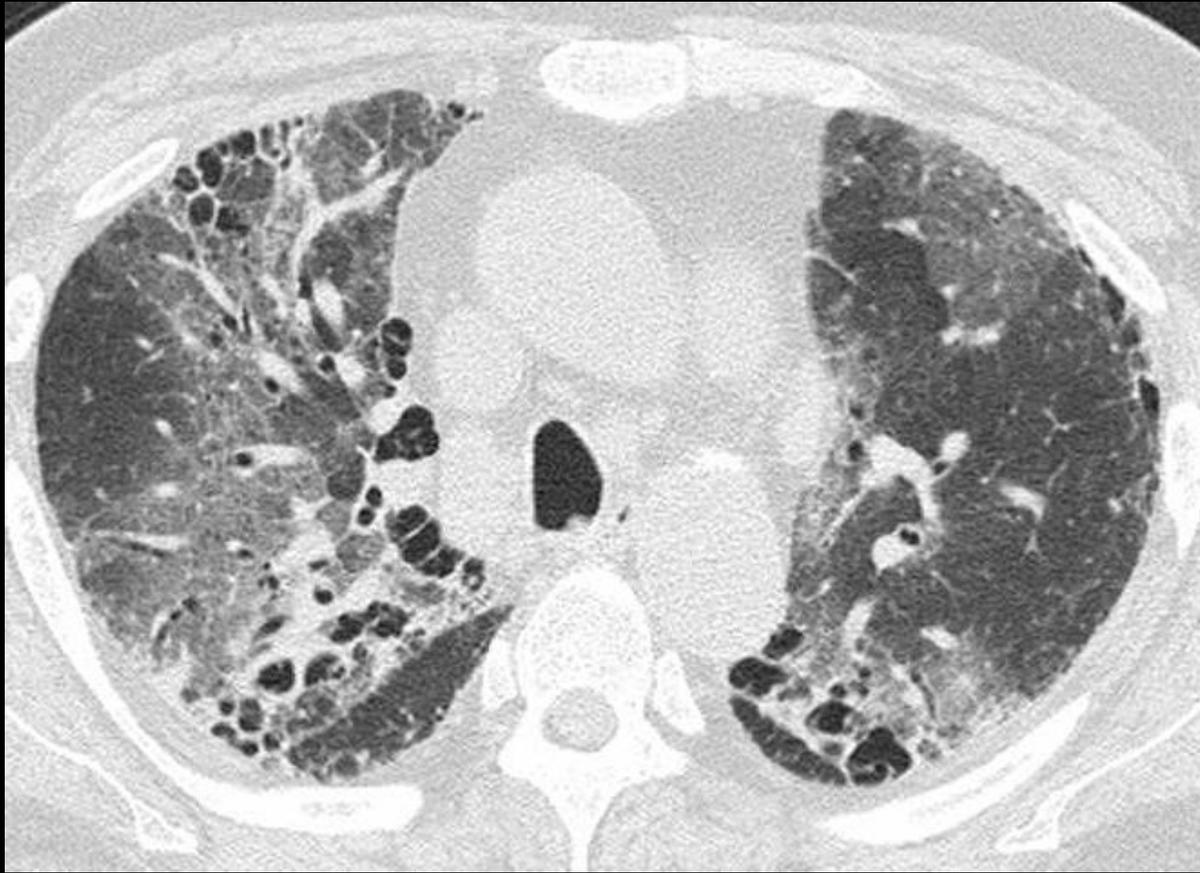
高齢者、放射線や抗がん剤治療中の患者など

主な原因菌

- (1)細菌性…MRSA感染症、緑膿菌感染症
- (2)真菌性…カンジダ症、ニューモシスチス肺炎
- (3)ウイルス性…サイトメガロウイルス感染症、ヘルペス
- (4)原虫性…クリプトスポリジウム症、トキソプラズマ症



さまざまな肺疾患の画像が読めるようになります



薬剤性肺炎



ニューモシチス肺炎

膠原病リウマチ内科

膠原病リウマチ内科/膠原病リウマチ痛風センターの現況

リウマチ性疾患（膠原病・リウマチ・痛風）に特化した体制

診療：全国トップレベルの患者数
研究：英文論文・国内外の学会発表・科研費
教育：卒前・卒後教育、IORリウマチセミナー

東京女子医科大学における
特色ある診療センター

リウマチ学における
日本のトップランナー

当科の特徴

- 膠原病、関節リウマチ、痛風をはじめとしたリウマチ性疾患の患者を多数診療している、東京女子医科大学膠原病リウマチ痛風センターの内科部門です。膠原病リウマチ内科と整形外科（リウマチ部門）、小児リウマチ科で、「膠原病リウマチ痛風センター」という1つの診療センターを形成していますが、研修は独立しています。
- リウマチ性疾患全般を対象としており（外来患者数はどのリウマチ性疾患でも日本最大規模）、内科的治療としては最新の薬物療法を網羅し、合併症治療も含めて全人的医療を行っています。必要な症例については、整形外科（リウマチ部門）で手術も行っており、関節リウマチに対する手術件数では全国1位にランクされています。
- 国内最大規模の施設の使命として、外部の若手医師を対象としたセミナーの定期的開催など、若手リウマチ医の教育・育成にも積極的に取り組んでいます。また、豊富な症例を背景とした臨床・基礎研究も活発に行い、国内屈指の業績を挙げ続けています。

IOR リウマチ セミナー

2022
7.16[±]
13:00-18:30
オンライン開催

対象者 初期臨床研修医、リウマチ医を志して**2年以内**の
内科医・整形外科医

- ・リウマチ膠原病内科や整形外科を志望する初期研修医
- ・内科全般を研修しているが今後リウマチ膠原病内科を進路に検討している内科後期研修医
- ・市中病院に勤務しているがリウマチ膠原病を診る機会が少なく、リウマチ膠原病の理解を深めたい内科後期研修医
- ・整形外科医としては数年のキャリアがあるが、最近リウマチに興味を持ち始めた整形外科医などを想定

定員 100名 申込方法 7月3日(日) 締切

参加費 無料 ウェブサイトからお申し込みください
<https://www.twmu.ac.jp/ior/raseminar/1189-ior2022-summer.html>



1 開会の挨拶

レクチャー Part 1

- リウマチ性疾患の問診と関節診察のコツ ● RAと類縁疾患のX線読影 初心者向け ● 関節エコーことはじめ 初心者向け

レクチャー Part 2

- 自己抗体検査の賢いオーダーと結果のみかた ● 膠原病合併間質性肺炎のCT読影 初心者向け
- メトトレキサートを初めて処方する時に知っておくべきこと
- RA治療における手術とそのタイミング(知っておくべき基本的なRA手術と整形外科へのコンサルテーションのタイミング)

レクチャー Part 3 (いずれか1つを選択して参加)

- 成人になった若年性特発性関節炎をどう診るか ● 生物学的製剤の選び方と使い方 初心者向け
- 大学院生による研究: RAの遺伝的リスクのスコア化と関節X線のAI解析
- RA発症予防のための免疫学的ターゲットの探索研究

3 ブレイクアウトルームを用いた、レクチャー講師との少人数グループでの質疑応答

4 閉会の挨拶

IORセミナー参加者の声 ●こんなに素晴らしい講義を準備頂き、本当にありがとうございます。

●外来にて原因不明の多関節痛・腫脹を診察する際、関節病変の鑑別が困っていたが、今後の診察・評価の助けになりそうだと感じた。●レントゲンはかなり苦手意識があったので、画像をたくさん提示いただき大変勉強になりました。●関節エコーが必要なケースについて学べ、実臨床に活用できそうで大変有用であった。●アーティファクトについてもご教授頂きエコーレポートをみる参考になりそうである。●RA手術のトレンド、エビデンスについてまとまって簡単に学習できた。書籍を読むだけでは得られにくい学問的な知識を得られ、大変勉強になった。●JIAにはほとんど知らないことばかりであったので、全体像を把握するのに大変勉強になった。●間質性肺疾患時に検査すべき血清項目や保険診療に関する情報が大変有益だった。●オンラインでのセミナーは、地方の人間にとっては本当にありがたいです。●東京女子医大リウマチ痛風センターの素晴らしい講義をありがとうございました。

本部

東京女子医科大学 膠原病リウマチ内科
TEL:03-3353-8111 (大代表) / FAX: 03-5269-1727 / Email: katsumata@twmu.ac.jp
〒162-8666 東京都新宿区河田町9-1

事務局
支援

株式会社ウエアライブ コンベンション事業部
TEL: 03-3552-4170 / FAX: 03-3552-4178 〒104-0042 東京都中央区入船2-2-3 サンエムビル5階



診療

- 膠原病リウマチ内科年間入院症例数（COVID-19診療などのため、例年より少なめです）
 - 合計313例
 - 主な内訳: 関節リウマチ79例、SLE51例、強皮症46例、血管炎33例、筋炎33例
 - 研修医1名あたりの担当症例数は、上記を4～6で割った程度です。
- 膠原病リウマチ内科の入院症例は、おもに、膠原病～類縁疾患の精査加療、関節リウマチなどが基礎疾患の患者の合併症（感染症など）になります。さらに自科外来から多くの緊急入院を受け入れ、重篤病態も多くみえています。他科入院中の患者がリウマチ性疾患であることが判明して転科を受け入れたたり、治療困難な患者を他院から転入院で受け入れることもしばしばあります。
- 膠原病リウマチ内科の外来患者数は、1日平均155名、再診患者は月3,100名、初診患者は月120名です。コロナ禍においても、外来患者数は本院全診療科においても最大規模ですが、リウマチ科としても日本最大規模です。なかでも関節リウマチは約4,000名の患者さんが通院しています。

週間予定

- 膠原病リウマチ内科病棟研修医の週間スケジュールは右表のようになっています（記載されていない時間帯は通常の病棟業務です）。
- また、外勤日は、全日を1回あるいは半日を2回割り当てられます。当直は、内科合同当直です。
- 月2回、木曜日夕の医局会は、全医局員が参加して、上級医局員によるレクチャー、内科症例検討会、リサーチミーティングなどが行われています。
- そのほか、腎臓内科や皮膚科との合同生検病理検討会、画像診断科との肺画像検討会、院内外の研究会・講演会、などが定期的に行われています。

曜日	午前	午後
月		
火		
水		病棟長回診 (14:30-16:30)
木	診療部長回診 (9:00-11:00)	外来カンファレンス (12:00-13:00) 医局会 (16:30-17:30) (17:00-18:00)
金		
土	病棟長回診 (10:30-12:00)	
日		

体制

- 病棟体制は、2～3班に分かれ、指導医（助教）—後期研修医（1～2名）—初期研修医（0～2名）で1つの班を構成し、チームで診療にあたります。後期研修医は、指導医の密接な指導を受けるとともに、下級の研修医や学生を指導することにより、深く学ぶことができます。
- 内科専攻医の研修は病棟での研修が主体となりますが、本人の希望に応じて、当科の初診・再診外来や外来超音波検査の見学につき、指導を受けることも可能です。
- 当科の病棟体制の特徴の1つは、「回診」が多いことです。国内有数のエキスパートリウマチ医と、担当症例について直接ディスカッションし、教育・指示を受ける機会が頻繁にあります。また、症例プレゼンテーションを日常的にこなすことにより、プレゼン能力も磨かれます。年間を通じてそれを繰り返すことにより、臨床医としてステップアップすることができます。
- 一般的には、卒後6年目から大学での専門外来を始めますが、毎週木曜日の昼休みを使用し、外来振り返りセッションを行っています。若手医師が外来カルテを提示しながら、最近の外来で診察した患者さんの診療内容をプレゼンテーションし（1症例2-3分、1医師あたり30分間）、教授を始め複数の上級医から形成的指導を受けます。



レクチャー動画の共有（医局員のみアクセス可）

RAと類縁疾患のX線読影

本田 卓

初心者向け

東京女子医科大学医学部内科学講座膠原病リウマチ内科学分野
Division of Rheumatology, Department of Internal Medicine, Tokyo Women's Medical University School of Medicine



メトトレキサートを初めて処方する時に知っておくべきこと

東京女子医科大学医学部内科学講座 膠原病内科学分野
杉谷 直大



リウマチ性疾患の問診と関節診察のコツ

針谷正祥

IORリウマチセミナー2022

膠原病合併間質性肺炎のCT読影

初心者向け

東京女子医科大学医学部内科学講座
膠原病リウマチ内科学分野

中村 昌平



生物学的製剤の選び方と使い方

東京女子医科大学医学部内科学講座
膠原病リウマチ内科学分野
田中 栄一



自己抗体検査の賢いオーダーと結果のみかた

勝又 康弘

東京女子医科大学医学部
内科学講座膠原病リウマチ内科学分野

関節エコーことはじめ

東京女子医科大学医学部
膠原病リウマチ内科学講座

花岡 成典



RA治療における手術とそのタイミング

東京女子医科大学 整形外科・膠原病リウマチ痛風センター
Department of Orthopedic Surgery, Institute of Rheumatology, Tokyo Women's Medical University

矢野 紘一郎



RA発症予防のための免疫学的ターゲットの探索研究

東京女子医科大学医学部内科学講座
膠原病リウマチ内科学分野
岡本 祐子



医局員

- 現在、当科常勤医師で（分院や関連施設など院外に派遣・出向している医師や非常勤医師、留学・産休・育休中の医師などは含まず）、リウマチ内科27名（うち女性13名）です。
- 日本内科学会 認定内科医 23名
- 日本内科学会 総合内科専門医 9名
- 日本リウマチ学会 指導医 14名
- 日本リウマチ学会 専門医 23名
- 日本医師会認定産業医 2名



専門医について

- 基本的に、全医局員が、**新内科専門医**取得後、**膠原病・リウマチ内科領域専門医**を取得します。
- 多くの上級医は、現・**日本内科学会総合内科専門医**も取得しています。
- また、本院および当科関連医療施設のすべてが、これらの専門プログラムの認定施設です。

研究

後期研修医の研究・学会活動

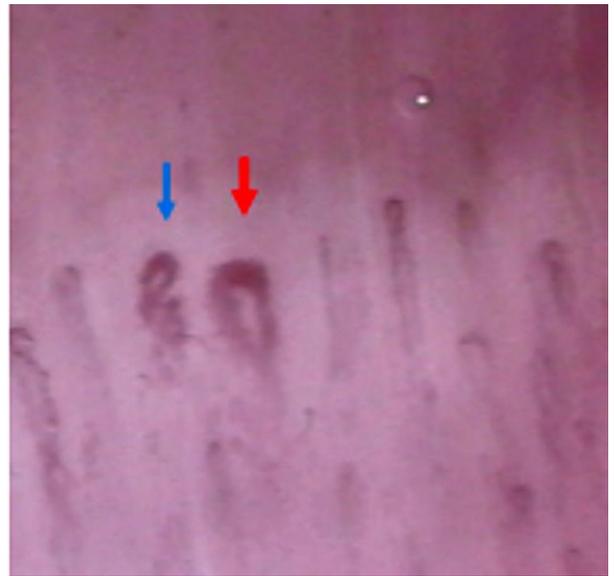
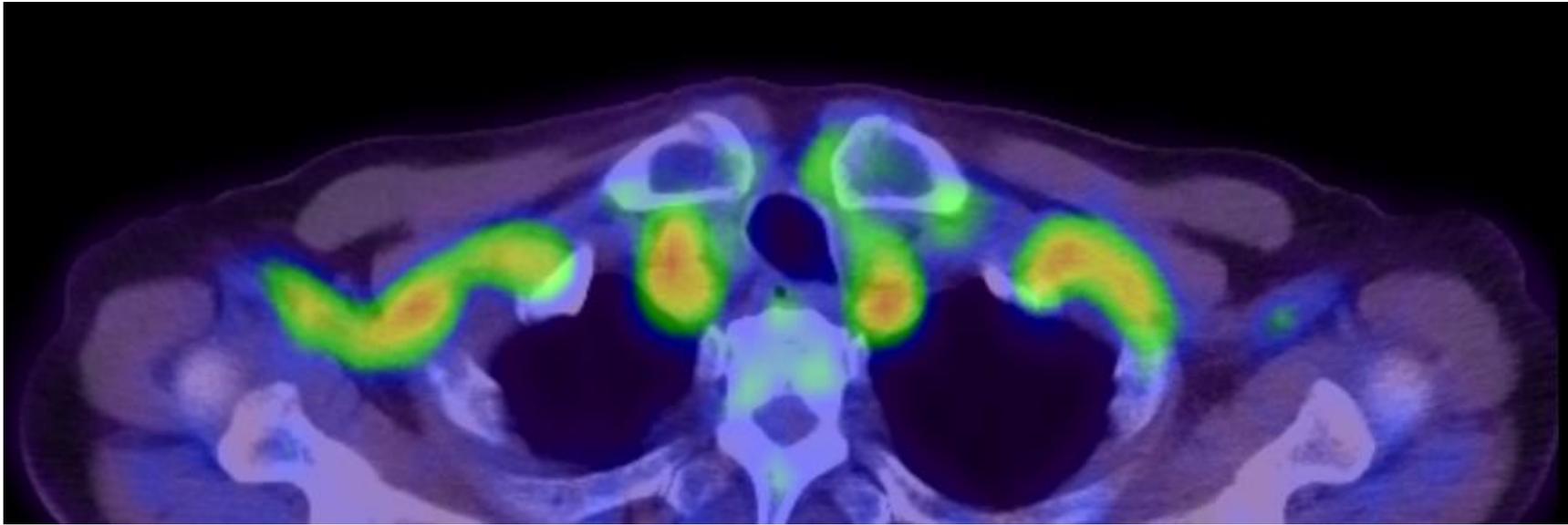
- 定期的に内科症例検討会を行っています。担当医が指導医とともに準備して、発表します。
- そのような症例を基にして、少なくとも年1回、いずれかの外部の研究会で症例報告をします。さらに、翌年4月下旬の日本リウマチ学会総会でも、指導医のていねいな指導の下に、演題を発表します。
- 症例報告のほか、本人の意欲や経験に応じて、多数症例での臨床研究を行い、報告することもあります（国際学会で発表することもあります）。
- 後期研修をしながら、大学院に入学することも可能です（研修終了後でも可）

当科で行っている、おもな研究

- 関節リウマチの大規模前向き観察研究（IORRA）コホートを用いた臨床研究
- preclinical RAの研究（関節炎発症前の関節リウマチの病態研究）
- 全身性エリテマトーデスの研究
- 全身性強皮症の研究
- 多発筋炎、皮膚筋炎の研究
- 血管炎症候群の研究
- 自己炎症性疾患の研究
- 小児リウマチの研究
- 薬剤疫学研究

<https://twmu-rheum-ior.jp/research/r-im.html>





関連病院

- おもな学外関連医療施設: 都立大塚病院、川崎市立川崎病院、川崎市立井田病院、さいたま市立病院、自治医科大学附属さいたま医療センター、東京山手メディカルセンターなど。
- **内科専門医研修**および**膠原病・リウマチ内科領域専門医研修**では、連携施設での研修先として、上記病院が候補となります。

問合せ先

東京女子医科大学医学部内科学講座膠原病リウマチ内科学分野

医局長 勝又 康弘

TEL 03-3353-8111 (大代表)

e-mail katsumata@twmu.ac.jp

東京女子医科大学膠原病リウマチ内科 ホームページ

<https://twmu-rheum-ior.jp/>

